

1890

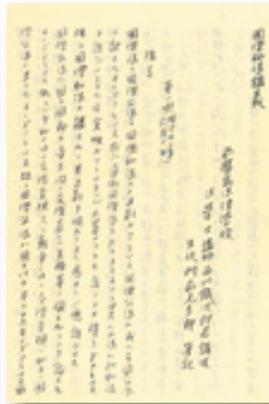
『五大法律学校連合討論筆記』

現在の専大・中大・法大・明大・早大の学生を中心とした法律に関する討論会の記録です。討論会は一般からも注目を集め、各校の社会的ステータスを高めるとともに、法律への関心を喚起しました。各校は、現在の司法試験合格者数を競う点ではライバルでしたが、法律知識普及の点では同志であったといえるでしょう。



旧神田区に所在した法学系私立学校

現校名	専修大学	中央大学	日本大学	法政大学	明治大学
創立時校名	専修学校	英吉利法律学校	日本法律学校	東京法学社	明治法律学校
創立年月	1880年9月	1885年7月	1889年10月	1880年4月	1881年1月
神田区内での創立・移転時住所	神田区中猿楽町4	神田区神田錦町2-2	神田区三崎町3-1	神田区北甲賀町19	神田区南甲賀町11



1890

「広島法律学校規則」(左)
広島法律学校講義ノート(右)

広島法律学校は1887(明治20)年から1896(明治29)年まで続いた学校です。明大校友の百瀬武策、専大・中大講師の井原師義、中大創立者のひとり西川鉄次郎、日大講師の菅谷正樹などが、出身校・本務校の枠を越えて講師を務めました。

神田発! 法律知識の全国普及

現在の明治大学、専修大学、中央大学、日本大学、法政大学は、明治10~20年代に創立された法学教育の課程を持つ高等教育機関で、昭和戦後まで旧神田区とその周辺にキャンパスを構えていました。

上記各校の関係者(教員・卒業生)たちのなかには、自身の郷里や赴任先において、法律知識を広く教育するための学校の創立や運営に協力した人たちがいました。彼らは、ときに出身校・本務校・学派の枠を越えて、法律知識の普及という共通目的のために尽力しました。それらの学校のほとんどは短期間で閉校しましたが、明治時代における法律知識普及の視点から今日振り返れば、たいへん意義のある活動であったといえるでしょう。

明治大学史資料センター・阿部 裕樹



明治大学史資料センター

明治時代に法律(法学)を教育した学校のある都市(現在の東京都以外)

広島法律学校の他にも、全国各地に法律を教育する学校が創立されたことがわかります。その多くで旧神田区に所在した法学系私立学校関係者の尽力があったと考えられます。



(注) 写真は全て明治大学史資料センター所蔵資料。本文中の学校名は「旧神田区に所在した法学系私立学校」を除き現校名。
(付記) 本ページの成果は、JSPS科研費 JP(16K03060)の助成を受けたものです。



1886 - 1911

明治法律学校・南甲賀町校舎

明治大学の前身である明治法律学校は、1881(明治14)年に有楽町(数寄屋橋)で開校し、1886(明治19)年に神田駿河台の南甲賀町(リバティタワー向かいの場所)に移転しました。